令和3年度 「学校経営グランドデザイン」

伊勢崎市立宮郷中学校

学校教育目標

未来を展望し、果敢に挑戦できる宮中生

目指す生徒像 校訓 自学・敬愛・錬成

自ら学び、心豊かで、たくましい生徒

- ・自学 高い志をもち、自ら考え、自ら学ぶ生徒
- ・敬愛 心を磨き、人を愛し、協調できる生徒
- ・錬成 自らを律し、根気強く心身を鍛える生徒



宮郷中 心の三箇条

私たち宮中生は、ここに「宮郷中 心の三箇条」を制定します。 そして、何事にも前向きに取り組み、日本一の学校を目指します。

宮中生は 日本一の 心 を持ちます

- ・第一条 私たちは相手のことを思いやる感謝の心を持ちます
- ・第二条 私たちは正しいことをつらぬく誠実な心を持ちます
- ・第三条 私たちは全力で取り組みあきらめない心を持ちます

(令和2年2月27日 生徒会)

目指す学校像 通いたい学校、通わせたい学校

- ・確かな学力と豊かな心を身につけられる学校
- ・一人一人が輝きを放てる学校
- ・当たり前のことが、当たり前にできる学校
- ・花と緑の潤いがある学校



学校経営方針

- ・宮中生としての自信と誇り「宮中プライド」をもたせるとともに、自分の未来を展望し、 果敢に挑戦できる機会や場を充実させる。
- ・アクティブラーニング型授業等、授業の質を追究しながら、学び合いのある「わかる授業」を展開することで、生徒が身についた力を実感し主体的な学びを促していく。
- ・生徒会活動等の生徒主体の活動を推進する上で、生徒の気持ちや思いを受け止め自治的な活動を支援し、集団としての規律のある、心の通い合う学校生活・学級生活を目指す。
- ・生徒の姿で語る学校経営を大切にし、生徒の頑張りや成果を認め発信するとともに、コ

ミュニティスクールとして、家庭・地域との連携・協働による教育活動や教育環境の充実 を図る。

・「チーム宮中」として同僚性を推進し、「選択と集中」「継続と徹底」「スクラップ&ビルド」により業務改善を図りながら、組織的な学校経営を推進する。

重点活動

1 学力向上(21世紀型学力向上プラン)

(1) 考え表現する力づくり

- ・「主体的・対話的な深い学び」を目指すアクティブラーニング型授業の推進
- ・「わかる授業」「質の高い授業」「学び合える授業」の展開による生徒が主役の授業の 推進
- ・「5W」(読む・聞く・考える・書く・話す)及び宮郷地区幼小中一貫生活学習ルール の徹底
- ・自ら学ぶ学習習慣の育成
- ・読書タイムによる読書習慣の育成
- ・漢字検定、英語検定、GTEC、各種コンクール等への果敢な挑戦

(2) 英語力づくり

- ・小学校英語と効果的な接続と GTEC の効果的な活用
- ・スピーキングテストやライティング教材による実用的な英語力の育成
- (3)情報活用能力づくり
 - ・電子黒板等、タブレット端末等、ICT機器の効果的な活用
 - ・ICT機器の積極的な活用による、考え・表現する活動の充実

2 豊かな心の育成(市民性育成プラン)

- (1) 健康・生活づくり 時を守り、場を清め、礼を尽くす
 - ・生徒主体による「5S」活動(整理・整頓・清掃・清潔・所作)の徹底・習得
 - ① 宮中モーニングチャレンジ
 - 重点 「笑顔であいさつ」 「自転車置き場の整理整頓」 「下駄箱内の整理整頓」 「机とロッカーの整理整頓」 「生活ノートの活用」
 - ② 宮中トイレピカピカプロジェクト 重点 「きれいに使用」 「ピカピカ・清潔を維持」
 - ③ 宮中美化緑化プロジェクト
 - 重点 「花による潤い」 「校庭の雑草抜き」 「校舎キラキラ清掃」
 - ・一人一人の心と体の状態の把握と体育的行事への意欲的な参加と意思の尊重
 - ・教科体育での運動量の確保と運動好きな生徒の育成
 - スマートフォンにおける家庭でのルールづくりの推奨

(2) 小と小の関わりづくり

・心に響く道徳授業の質的充実と人権意識・人権感覚の醸成

- ・生徒主体の一人一人が輝きを放つ学校行事の推進
- ・一人一人の特性や障害、能力を生かした合理的配慮と役割のある生活

(3) 地域へのつながりづくり コミュニティスクールの推進

- ・学校運営協議会及び宮郷っ子健全育成推進委員会との連携・協働による地域とともに ある学校づくりの推進
- ・地域挨拶運動への積極的参加の推進
- ・地域行事(住民祭り、住民スポーツ大会、道路愛護、公園清掃等)への自発的参加の 促進

3 地域連携(地域と世界をつなぐ人材育成プラン)

- (1) 地域とつながる人づくり
 - ・誇れるふるさとについて学ぶ「史跡巡り学習」の充実
 - ・地域産業に学ぶ職場体験学習の改善・充実
- (2)世界とつながる人づくり
 - ・海外語学研修の効果的な活用
 - 異文化理解・多文化共生教育の推進
- (3) 未来を拓く人づくり
 - ・カリキュラムパートナーの積極的活用による未来力学習講座の充実

4 安全管理 施設や設備等の安全点検の徹底

(1)保健管理・保健教育

- ・一人一人の心と体の状態の把握
- ・熱中症、病気やけが等への迅速かつ適切な対応
- ・新型コロナウイルス等、感染症対策の徹底
- ・食物アレルギーに関わる適切な対応

(2)安全教育

- ・交通安全対策として左側一列走行の徹底
- ・ガラスを割らない行動の徹底
- ・自然災害等への科学的理解と適切な実践力の定着



GO MIYAGO!